

高砂青松

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan

Rotary Club



人類が私たちの仕事

MANKIND IS OUR BUSINESS

2001～2002年度国際ロータリーのテーマ

例会記録 (2002. 1. 30 (水)) 通算1150回

ソング 「我等の生業」「歓迎歌」

本日のゲスト 灘 隆彦様

来訪ロータリアン報告 半田啓明様 (高砂R.C.)
濱尾 繁様 (高砂R.C.)

出席報告 1月16日 会員数58名 欠席者3名 出席率94.83% <修正による>
1月30日 会員数58名 欠席者15名 出席率74.14%

ニコニコ報告 灘 隆彦 …… 久しぶりに寄せて頂きました。本日は卓話の時間を少し借りて話をさせていただきます。
栗原 康高・小西 文孝 …… 灘先生、本日はありがとうございます。勉強させていただきます。

プログラム予定

1月30日 (水)	2月6日 (水)	2月13日 (水)	2月23日 (土)
卓話 姫路市議会議員 灘 隆彦氏	卓話	国際奉仕委員会担当 講師 川端麻起子氏 (ローテックス委員長)	東播第2分区 I.M.

会長 丸山 滋夫 幹事 鹿間 行雄 クラブ会報委員長 渡辺 弥生
例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室 (2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (0794) 43-0500(代)

岡本 崇 司 ……早退します。
西 田 光 衛 ……早退します。
志野木 貞 夫 ……所用の為、早退します。

幹事報告

第24回 通算1094回

1. ガバナー事務所より地区指導者育成セミナーの案内が届いております。
3月9日(土) 14:00~16:00 於:西山記念館
2. 明石南ロータリークラブより20周年記念式典の案内が届いております。
3. 兵庫県フロン回収・推進協議会よりフロン回収破壊法に関するパンフレットが届いております。
4. ザロータリアン誌が届いております。回覧しております。

会長の時間

先週の東播磨の地域づくりの基本姿勢の話を東播磨県民局主幹の西川孝晴様より説明いただきまして、又今週は今後の広域行政について、姫路市議会議員の灘隆彦様より説明をしていただきます故、よろしく願います。

本日のプログラム

卓話「今後の広域行政について」 姫路市議会議員 灘 隆彦様

市町村合併のメリット等について

地方分権の進展とともに、住民に身近な基礎的自治体としての市町村にとって行財政能力の向上が必要であり、その手段として、市町村合併は有効な方法であると考えられます。

姫路市にとっても、播磨の中核都市としての役割や市民サービスの一層の向上を考えたとき、市町村合併は避けることのできない課題であります。その際には関係市町の行政的なつながりはもちろんのこと、通勤・通学をはじめ買い物などの日常的なつながり・文化的なつながりや、次のような市町合併のメリット等も考慮した総合的な検討が必要です。

1. 姫路市にとってのメリット

- ① 人口が50万人を超え、名実ともに兵庫県下第2位の都市として都市が活



性化するとともに、都市規模が大きくなることにより、行財政能力が強化されます。

- ② 都市のイメージアップにより、政令指定都市に向けた取り組みへのステップになります。
- ③ 今までの市域にとらわれない新しい枠組みの中で、新しいまちづくりが可能になります。
- ④ 両市の合併により、職員の統合により、専門的職員の数も増加するので、サービス提供や事業実施を直接担当する部門を手厚くすることができ、質の高い行政サービスを展開できます。
- ⑤ 現在の両市境界付近の問題についての解決の進展が図られます。
 - ・ 現在、姫路市大塩町と高砂市北浜町で複雑に入り組んだ境界線から生じている道路や下水道の整備といった問題の解決が図られます。
 - また、境界付近において土地区画整理事業など一体的な整備が可能となります。
 - ・ 両市の懸案となっている道路整備（大塩曾根線等）や橋梁等の整備促進が図られます。
 - ・ 大塩町と北浜町などにおける小中学校校区の見直しが可能になり、通学の不便さが解消します。
- ⑥ 利用可能な窓口が増加し、行政サービスがより身近になります。
- ⑦ 教育や福祉などのサービスがより充実し、図書館、公共住宅、青少年教育施設や保育所などの福祉施設をはじめ、利用可能な公共施設が増加します。

2. 高砂市にとってのメリット

- ① 中核市になることにより、イメージアップが図れ、高砂市民は現在姫路市が行っている質の高い行政サービスを受けることができます。
 - ・ 身体障害者手帳の交付などや心身障害児の補装具・日常生活用具の給付・貸与にかかる期間が半分以下に短縮されます。
 - ・ 都市計画法関係の事務移譲により独自のまちづくりが展開しやすくなります。
- ② 環境問題や水資源問題、観光振興など、広域的な調整・取り組みを必要としていた課題に対して、有効な施策を展開できます。
- ③ 両市の合併により、職員の統合により、専門的職員の数も増加するの

で、サービス提供や事業実施を直接担当する部門等を手厚くすることが可能になり、質の高い行政サービスを展開できます。

- ④ 現在の両市境界付近の問題についての解決の進展が図られます。
 - ・ 現在、姫路市大塩町と高砂市北浜町で複雑に入り組んだ境界線から生じている道路や下水道の整備といった問題の解決が図られます。また、境界付近において土地区画整理事業など一体的な整備が可能となります。
 - ・ 両市の懸案となっている道路整備（大塩曾根線等）や橋梁等の整備促進が図られます。
 - ・ 大塩町と北浜町などにおける小中学校校区の見直しが可能になり、通学の不便さが解消します。
- ⑤ 利用可能な窓口が増加し、行政サービスがより身近になります。
- ⑥ 教育や福祉などのサービスがより充実し、図書館、公共住宅、青少年教育施設や保育所などの福祉施設をはじめ、利用可能な公共施設が増加します。

3. 政令指定都市になった場合のメリット

- ① 市役所本庁舎のほか、人口10万人程度を単位に区役所を設置し、市民生活に密着した事務のほとんどを取り扱います。
- ② 都道府県で行っている事務のうち、市民生活に関わりの深い事務の多くが移譲され、中核市よりさらに多くの権限が移譲されます。（都市計画、土地区画整理等に関する事務、指定区間外の国道・県道の管理等）
- ③ 事務の移譲にあわせ、事業等の承認、許可、認可等について知事の監督の必要がなくなり、または知事の監督に代えて直接主務大臣の監督を受けます。また、直接、主務官庁と交渉できるため、事務のスピードアップ化が図られます。
- ④ 広域的観点から、市民体育館等のスポーツ施設、公民館、図書館等の公共施設が効率的に配置され、類似施設の重複が解消されます。
- ⑤ 都市のイメージアップにつながります。（大企業の進出が予想され、都市機能の集積が一層進む。）また、政令指定都市移行に伴い、市民の行政への意識が高まります。
- ⑥ 関連で石油ガス譲与税、軽油取引税交付金、宝くじ発売収益金が新たに交付されます。また、地方道路譲与税、自動車取得税交付金などが一般

市より多く交付されます。

4. 両市の合併についての懸念として考えられること

- ① 役場（庁舎）が遠くなるのではないか。
- ② 合併によって、従来の市名が変わるのではないか。
- ③ 両市の一体感の醸成に時間がかかるのではないか。
- ④ サービスは下がり、公共料金、税金があがるのではないか。
- ⑤ 議員が減ることにより、編入された市からの声が届かなくなるのではないか。
- ⑥ 財政状況が厳しくなるのではないか。

5. 合併に対する支援措置について

政府は、平成17年3月末までに地方分権の成果を生かし、基礎的自治体である市町村の行政サービスを維持向上させていくために、行政改革大綱に則り、自主的な市町村合併を推進しています。そのなかで、市町村が合併により新しいまちづくりを行う場合に、平成13年8月に策定された市町村合併支援プランのなかで地方財政措置など、さまざまな市町村合併支援措置が受けられます。